

## 貸借対照表

令和 6 年 3 月 31 日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
<b>【流動資産】</b>	<b>【 1,010,916,519】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 164,289,953】</b>
現金及び預金	273,795,594	未払金	80,883,998
売掛金	198,218,849	未払費用	2,071,521
入居者立替金	2,794,328	預り金	1,649,667
前払費用	84,174	仮受金	4,303
仮払金	43,824	未払法人税等	67,165,400
未収金	40,000	賞与引当金	12,036,348
預け金	535,939,750	<b>【固定負債】</b>	<b>【 2,313,794】</b>
<b>【固定資産】</b>	<b>【 897,482,790】</b>	長期リース債務	2,313,794
(有形固定資産)	( 882,508,150)		
建物	406,323,517		
建物附属設備	190,101,365		
構築物	35,799,328		
車輛運搬具	19,374,487		
リース資産	3,829,700		
工具器具備品	19,935,392		
土地	592,184,544		
減価償却累計額	△385,040,183		
(無形固定資産)	( 1,012,966)		
ソフトウェア	731,500		
水道施設利用権	281,466		
(投資等)	( 13,961,674)		
リサイクル預託金	259,940		
繰延税金資産	11,326,317		
保証金	153,000		
長期前払費用	2,222,417		
資産の部合計	1,908,399,309	負債の部合計	166,603,747
		純資産の部	
		<b>【株主資本】</b>	<b>【 1,741,795,562】</b>
		(資本金)	( 10,000,000)
		(利益剰余金)	( 1,731,795,562)
		繰越利益剰余金	1,731,795,562
		純資産の部合計	1,741,795,562
		負債及び純資産の部合計	1,908,399,309

## 個 別 注 記 表

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税の規定による定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、及び平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備並びに構築物は定額法）

無形固定資産 法人税法の規定による定額法

リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。なお、リース取引開始日が平成20年3月31日以前の不動産リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を採用しています。

#### 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について貸倒実績率により計上しています。貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収可能見込額に元に基づき計上しています。

賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しています。

役員賞与引当金 役員賞与の支払いに備えて、当事業年度における支給見込額に基づき計上しています。

退職給与引当金 原則法を採用しています。

#### 収益及び費用の計上基準

収益 主に役務提供完了基準を採用しています。

本業以外の役務提供に係る収益と、当該収益に係る原価の処理方法  
営業外収益・営業外費用で処理しています。

費用の計上基準 発生主義を採用しています。

#### 原価と販売管理の区分

人件費 原価：現場社員の給料手当・法定福利費・福利厚生費・賞与等

販売管理費：本社社員の給料手当・法定福利費・福利厚生費・賞与等

経費 原価：事業所で発生する経費

販売管理費：本社管理部門で発生する経費

補助金収入 ①売上計上 ②費用減額処理 ③営業外収益 いずれかで処理しています。

#### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### その他

##### 項目名

リース取引の処理方法

##### 内容

土地建物に関するリースも含め、リース取引に関する会計基準に準じて処理しています。

##### 項目名

資産除却債務の処理方法

##### 内容

原則法或いは簡便法（敷金に関する特例処理）にて、原状復帰義務を有する全ての事業所に対して計上しています。

##### 項目名

固定資産の減損会計

##### 内容

適用済。グルーピングの最小単位は、各施設毎としています。

##### 項目名

税金費用の処理方法

##### 内容

・四半期決算 税引前四半期純利益に年間見込実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

・期末決算 原則処理を採用しています。